基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	1. 文化芸術活動の充実	文化に関する表彰式の開催	スポーツ・生涯学習課	市の文化の向上及び発展に関して特に顕著な功績を上げた方々を表彰することにより、当市の文化の振興を図る。	文化協会等関係各機関 118団体へ推薦依頼した結果、9名の推薦があった。委員7名による表彰審査会を開催し、意見を伺い各賞を決定した。 文化賞 伊藤一允 文化功労賞 相馬敏光、藤原つや子 文化奨励賞 小原和	312,000	<平成30年度の課題> ●功労賞においては、活動年数だけではなく、本市の文化向上に寄与した功績を判定するなど、基準の見直しを検討する必要がある。 <令和元年度の成果と課題> ○選考会では厳選を重ね、権威ある賞に見合う受賞者を選出した。 ●幅広く候補者を募る手法を検討する必要がある。	A	継続
		市民文化祭の開催	スポーツ・生涯学習課	市民の文化活動を一堂に集め、その公演・展示の場として文化祭を開催することにより、様々な分野や世代を超えた交流を深めると共に、相互の連携を図りながら当市の文化の向上及び活性化を図る。	・50周年記念オープニングセレモニー(合同合唱団による「大地讃頌」ほか) (11月2日 10:00～ 文化センター大ホール) ・舞台部門…29団体(11月2日～3日) 秋のスペシャルコンサート、舞と躍動、吟詠、謡と仕舞、演劇 ・展示部門…23団体 個人…12人(11月2日～11月3日) 手工芸展、陶芸展、蘭展、いけ花展、文芸展、盆栽展、自然界展、美術展、 水墨画展、書道展、写真展	312,000	<平成30年度の課題> ●出品・出演者において高齢化している。学生をはじめとする若年層の参加により、活性化するとともに入場者数も増えると思われるので、若年層の参加を呼び掛けたい。 <平成元年度の成果と課題> ○50回記念にふさわしいオープニングセレモニーを行い好評だった。 ●引き続き、若年層への参加を促すとともに、実行委員会にも若い人材に参加してもらう必要がある。	A	継続
		ジュニアオーケストラ十和田定期演奏会	スポーツ・生涯学習課	演奏活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の音楽に対する関心を高め、文化の振興を図る。	ジュニアオーケストラ十和田 第17回定期演奏会 (入場無料) 【プログラム】 第1部 巡礼の行列 他6曲 第2部 おもちゃの交響曲 他3曲	93,300	<平成30年度の課題> ●団員減少が深刻であり、今後、オーケストラに関心をもつ子どもたちが増えていくような活動が必要である。 <令和元年度の成果と課題> ○来場者に楽器に触れてもらう機会をつくるなど、子供たちに音楽への興味関心を喚起するよう工夫した。 ●引き続き、団員の増と定期演奏会の充実を図っていく必要がある。	A	継続
		十和田市子ども劇団公演	スポーツ・生涯学習課	子ども劇団の育成を通じて、児童生徒の創造性と豊かな感性を育むとともに、文化の振興を図る。	演目:「新釈 銀河鉄道の夜」 入場料:無料 委託先:十和田市子ども劇団育成会 会長 工藤 秀信	285,000	<平成30年度の課題> ●団員減少が深刻であり、入場者も少ない。今年度、同育成会が文化功労章を受賞したが、未だ、劇団の認知度が低い。宣伝を活発化し、劇団の魅力を発信していく必要がある。 <令和元年度の成果と課題> ○団員(子ども)が昨年の16人から22人へと増加し、より充実した内容の舞台を上演できた。 ●入場者増の取り組みや、劇団の魅力発信に取り組んでいく必要がある。	A	継続
		十和田市民合唱祭	スポーツ・生涯学習課	市民に芸術文化活動の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化に対する関心を高め、文化の振興を図る。	十和田市民合唱祭 入場料:無料 参加団体:三本木小学校合唱部、南小学校合唱部 北里大学獣医学部コーラスサークル、十和田湖コーラス愛好会 コーラス四季 滝の詩王者合唱団 コールアゼリア とわだ混声合唱団	121,283	<平成30年度の課題> ●出演者の高齢化により、支えが必要な方や平台・指揮台に上がれない方が増えてきた。サポートが必要である。 <令和元年度の成果と課題> ○舞台における安全対策について万全を期した。 ○三本木小と北里大学が復帰出演したことにより、活気のある演奏会となった。 ●内容のマンネリ化を防ぐ為、観客参加型のプログラムの実施など、構成についても工夫する必要がある。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
IV 心を豊かにする文化の創造と文化遺産の保存・継承・活用	1. 文化芸術活動の充実	ゼルコバアンサンブルコンサート	スポーツ・生涯学習課	市民にクラシック音楽等の鑑賞機会を提供し、心豊かな潤いのあるまちづくりを推進する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。 ゼルコバアンサンブルコンサート(入場無料) ゼルコバアンサンブル 高橋幸男 チェロ 石川泉 ヴァイオリン 藤原つや子 フルート 今田文子 ピアノ	6,000	<平成30年度の課題> ●客の大半を占める高齢者の反応は良好であるが、本来の結成目的から学校訪問ミニコンサートにつなげていくことが望ましい。方法を検討したい。 <令和元年度の課題> ○今年度は中止となったが、好評である為、今後も続けていきたい。学校訪問ミニコンサートについては1校で実施された。 ●引き続き、小学生への音楽鑑賞機会を増やして行けるよう方策を検討する。	A	継続
		十和田市サマーフレッシュコンサート	スポーツ・生涯学習課	十和田市にゆかりのある若手演奏家の活動機会と芸術文化活動を担う人材育成を図る。	十和田市サマーフレッシュコンサート 【出演者】 三浦 春乃(クラリネット)初 濱岡 珠恵(サクソフォーン) 田中 翔(テノール) 平 真子・平 菜摘(ピアノ連弾) 阿部 史歩(ヴァイオリン) 中平 綾香(フルート) 日向 翔(ピアノ) 田中 結(ピアノ) ※類家美郷(ピアノ)が出演予定だったが、体調不良により欠演	43,263	<平成30年度の課題> ●ホールに見合う集客活動をしなくてはいけない。 <令和元年度の成果と課題> ○大ホール開催は、出演者の意欲も上がり、良い音響のため観客の反応もよい。 ○上十三地区の若手演奏家の発表の場として定着しつつある。 ●上十三圏域にも周知すること等により、来場者を増やしたい。	A	継続
		第三ステージ支援事業	スポーツ・生涯学習課	文化センターの空き施設を無償で提供することにより、施設の有効活用を図るとともに、文化芸術活動の発展に寄与する。	大ホール、生涯学習ホール以外の研修室での芸術文化活動を支援することにより、市民の鑑賞機会を増やすことを目的とする。	0	<平成30年度の課題> ●平成30年度は開催希望がなく、市民への周知等も含め見直しを行う必要がある。また、十和田市民文化センターに指定管理者制度が適用され、公演の施設・備品の利用料は自費負担が原則となっているなか、今後も市主催事業として減免を継続するか検討する余地がある。 <令和元年度の成果と課題> ●広報等による周知や声掛け等実施したが、利用者はなかった。次年度は文化センターが休館となる為、事業の廃止も含め、検討する必要がある。	B	改善
	2. 文化財の保護、活用	伝統芸能まつり開催	スポーツ・生涯学習課	県及び市の文化財に指定されている市内の伝統芸能を広く市民に鑑賞してもらうことにより、文化財愛護精神を普及させる。また、民俗芸能の実演機会を設けることにより、伝承活動の活発化と後継者の育成を図る。	市内各地区の伝統芸能保存団体(計7団体)と、小中学生を中心とした後継団体(計5団体)が芸能を披露。また、招待団体として、岩手県北上市から「岩崎鬼剣舞保存会」を招待し開催した。 プログラムについては別紙参照 ※別紙資料 37P	0	<平成30年度の課題> ●再来年度は、市民文化センターが休館となるので、来年度中に開催場所や月日等について協会と連絡を密にして対応する必要がある。 <令和元年度の成果と課題> ○民俗芸能継承の良い機会となると共に、外部からも伝統芸能を招待し、多くの人に伝統芸能を鑑賞してもらうことができた。 ●引き続き、芸芸の継承が滞ることがないようにサポートする必要がある。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
Ⅳ 心を豊かにする文化の継承・活用と文化遺産の保存・	2. 文化財の保護、活用	文化財パトロールの実施	スポーツ・生涯学習課	市内に所在する史跡、名勝、天然記念物及び埋蔵文化財包蔵地の保存状況や現況を把握するため。	青森県教育庁文化財保護課で実施している文化財パトロール事業と共催する形で行っている。本年も文化財保護指導員丸 慶一氏、漆館 哲氏の2名で28日間、市内65ヶ所のパトロールを実施した。	0	<p><平成30年度の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化財保護指導員も高齢化になってきたため、後継者の選定が必要となる。 ●パトロールの成果を遺跡台帳に反映していく必要がある。 <p><令和元年度の現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査の結果、無届の土木工事等は確認されなかった。また、当年度実施された遺跡台帳見直しにおいてその成果を反映出来た。 ●引き続き、委員の後継者候補について選定を検討する。 	A	継続
	3. 郷土館及び十和田湖民俗資料館の整備・充実	郷土館企画展及び移動郷土館の実施	スポーツ・生涯学習課	博物館資料の収集・保管・展示及び調査研究をするとともに、郷土の歴史及び文化を深く理解してもらう。	<p>(企画展) 企画展「暮らしの履きもの」(来館者120名)</p> <p>(移動郷土館) 小学校9校463名(児童438名、引率等29名)</p> <p>(常設展示) 市内の遺跡から出土した考古資料や、江戸時代の古文書、民具、馬具、機織り機、軍馬補充部関連の資料を展示。</p> <p>(資料寄贈) 寄贈点数 41点</p> <p>(資料貸出等) 貸出件数 1件 貸出点数2点</p> <p>掲載許可 4件 放送許可1件</p>	3,872,407	<p><平成30年度の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な企画展等を実施して、入館者の増加に努めていきたい。 <p><令和元年度の成果と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度も多くの小学校からの希望があり、移動郷土館を実施することができた。 ●引き続き、様々な企画展等を実施して、入館者の増加に努めていきたい。 	A	継続
		十和田湖民俗資料館事業	スポーツ・生涯学習課	貴重な民俗資料を保管、公開し、郷土の歴史、文化についての理解を深めるとともに、見学体験事業を展開するなど学習機会の提供に努める。	<p>・郷土資料の展示、保存・活用</p> <p>国指定重要文化財・旧笠石家住宅の公開・保全と、地域住民から寄贈された民俗資料(農林業の道具、家具、食具、衣類等)の展示・保存・活用・子ども見学体験事業</p> <p>主に小学校児童を対象とした、旧笠石家住宅や館蔵資料を活用した昔の暮らし体験の実施。小学校7校、高校1校、その他1(379名)</p>	3,244,678	<p><平成30年度の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋根の葺き替えから間もなく20年を迎えることから、今後屋根の耐用年数及び葺き替え等を考慮した長期的な修繕計画を策定する必要がある。 <p><令和元年度の成果と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども見学体験を市内外小学校他に実施。郷土の歴史と文化についての理解を深めることができた。 ●屋根の改修等に向け専門家等を交え検討を進める必要がある。 	A	継続

○評価事業総数		96 件
○総合評価	A	89 件
	B	3 件
	C	0 件
○今後の方向性	継続	89 件
	改善	3 件
	休止	0 件
	廃止	4 件